

## パートナーシップ宣誓制度 申請者インタビュー



# パートナーシップ 宣誓制度を 利用してみて



申請者 奈々子さん・哲夫さん

哲夫さん(写真右)は、戸籍の性と表現する性は男性です。

奈々子さん(写真左)は、戸籍の性と好きになる性は男性、表現する性は女性です。

以前と比べて生活は全く変わらないですよ。でも精神的にとてもラクになりました。法律的にはできないことも多いけど、わたしたちは、こういうパートナーシップ関係です、**町が認めていますって示せるものができた安心感があります。**

よく、「ご苦労されたのでは?」とか、「困ったことはないか?」と聞かれるけど、思いつかないんです。自分の性的指向は変えられない、生まれ持ったの性質だもの。人に言われて治ったり、変えられたりするものじゃないから。理解してくれない人とは距離を置いて、割り切って生きてきました。だから苦労という苦労はなかったんです。

豊山町で2人で暮らし始めて、17年ほどになります。

私たちのことを理解してくれる人たちと楽しく暮らしています。

最近では、新聞を読んでいると、どこかにパートナーシップやLGBTの記事が載っているのを目にします。世の中は少しずつ変わってきているし、多様性について関心や理解が高まっていると感じています。これからも、わたしたちはありのままに生きていだけですよ。

## アライって知ってる?

アライ(Ally)は、英語で味方、支援を意味します。性的少数者の人たちを理解し、支援する人たちのこと、またはその考え方を指します。自分がアライになること、それはみんなが自分らしく生きていける社会づくりの一歩となります。



## 性のあり方についてお悩みの方へ～まずは相談してみませんか?～

性のあり方(身体的性、表現したい性、好きになる性など)は千差万別、人それぞれです。自分、または身近な人が悩んでいたら、ひとりで悩まずご相談ください。



▶連絡先・特集ページに関する問い合わせ 企画・広報グループ ☎ 28-0913 ✉ kikaku@town.toyoyama.lg.jp